



写真左は、新入生を代表して宣誓する椛島さん。同右は式辞を述べる竹屋学長



## 希望胸に 過去最多494人入学

### 令和7年度入学式 公衆衛生看護学専攻科1期生も

令和7年度の入学式が2日（水）午前、熊本市中央区の市民会館シアーズホーム夢ホールであり、本年度開講した公衆衛生看護学専攻科の第1期生となる20人を含め、過去最多となる計494人が入学しました。

式典では、竹屋元裕学長が学部学科、大学院、別科・専攻科ごとに入学許可宣言。引き続き、「これからの超高齢社会では、医療のあり方も『治す医療』から『治し、支える医療』へと変化する必要がある、看護師・保健師やリハビリテーション・セラピストの果たす役割がますます重要となっています。皆さんの一人一人が人生100年時代を支える主役。時代の流れを的確に見据えて、高齢社会を支える医療人を目指していただきたい」と式辞を述べました。

熊本市北区の吉住和征区長の来賓あいさつに続き、新入生代表の椛島百華さん（医学検査学科）が「医療に携わる人間として、的確な判断能力と高い倫理観を培い、学識を深め、人格の形成に精進します」と宣誓文を読み上げました。

式典の様子は、TKU（テレビ熊本）とKKT（熊本県民テレビ）の夕方のニュースで放映されました。（NL編集部）

◇ ◇  
令和7年度新入生の内訳は次の通り。  
医学検査学科121人、看護学科138人、リハビリテーション学科158人（理学療法学専攻65人、作業療法学専攻45人、言語聴覚学専攻48人）、大学院保健科学研究科12人、公衆衛生看護学専攻科20人、助産別科21人、認定看護師教育課程脳卒中看護分野8人、同認知症看護分野12人、特定行為研修課程4人



令和7年度入学式の会場



## 作業療法士の使命前面に 12年ぶり名称変更

「作業療法学専攻」は2007年のリハビリテーション学科開設時に1期生を迎えました。志願者数の変動から2013年に人々の生活を科学的に分類する国際生活機能分類（International Classification of Functioning: ICF）に由来する「生活機能療法学専攻」に名称を変更しました。そして、今年度、あらためて「作業療法学専攻」として19期生を迎えました。

作業療法では、人々の健康と幸福を促進し、その人にとって目的と価値を持つ生活行為すべてが支援の対象となります。何気ない幸せな

日々の生活が病気やケガで奪われてしまった方に対して、こころとからだの両面から支えようとするところに作業療法士の専門性があります。

作業療法士は医療の専門職ですが、人々のライフスタイルの多様化に伴い、その職域は福祉、教育など多岐にわたります。地域社会の中で、その人がよりよい人生を送るために何が必要か、具体的な支援のありかたを呈示できる作業療法士を育成することが作業療法学専攻の使命です。

（作業療法学専攻長 山野克明）

## 春のオープンキャンパスに200人 模擬講義・実習体験



写真上は、看護学科の展示物を説明する吉野拓未講師。同下は、大学概要の説明に耳を傾ける参加者

春のオープンキャンパスが3月23日（日）、開催され、高校生111人と保護者89人の計200人が本学キャンパスを訪れました。

50周年記念館で行われたオリエンテーションでは、竹屋元裕学長が本学の概要を説明。その後、各学科専攻に分かれて模擬講義や模擬実習を実施しました。また、ピア・サポーターによる「先輩と話してみよう」と題したコーナーでは、実際に大学に通う学生たちと話すことができることもあり、多くの生徒たちが訪れていました。このほか、国際交流に関するブース、進学や奨学金・アパートに関する相談コーナーも設置され、どのコーナーも賑わっていました。

参加した生徒たちは「実際に顕微鏡をのぞくことができて楽しかった」「施設がきれいでここで勉強したいと思った」「先輩方がしっかりされていて格好良かった」などと感想を述べていました。

（入試・広報課）

## ピア・サポの基本を再確認 新入生迎える前に「養成講座」

令和6年度の第3回ピア・サポーター養成講座が3月28日（金）、1501講義室Mであり、100人を超える学生たちが参加しました。

今回は「ピア・サポーターの基本的姿勢を再確認し、今後の活動および新入学生を迎える準備をしよう」というテーマに沿って、新入生オリエンテーションのアイスブレイクのシミュレーションやロールプレイングを用いた演習を行いました。アイスブレイクのシミュレーションでは「全力じゃんけん」や「全力紙相撲」などのゲームを行い、会場内は歓声と笑顔であふれていました。その後、受講者たちに委嘱状が授与されると学生たちは嬉しそうな表情を見せていました。

最後に竹屋学長から「活気があってこれからの活躍が楽しみ。学内の様々なイベントの対応を通して

有意義な活動を期待しています」とエールを送られ、新年度に向けて準備を整えました。（NL編集部）



「全力じゃんけん」のシミュレーションをするピア・サポーターたち

# 苦勞乗り越え充実の巣立ち

キャリア教育研修センター修了式

令和6（2024）年度キャリア教育研修センターの修了式が3月21日（金）、1204会議室で開催されました。

修了生の内訳は、認定看護師教育課程の脳卒中看護分野6人、認知症看護分野13人、特定行為研修課程3人の計22人。式典では、キャリア教育研修センターの川口辰哉センター長が全員に修了証書を授与し、祝辞を述べました。

川口センター長は1年間を振り返り「前半はeラーニング、後半は対面授業と臨地実習で大変なうえに、簡単ではなかったと思う。それを乗り越え、新たな道を切り開く準備が整った」と語りました。また、「本学で出会った皆さんとの一期一会を大切に、これからも励まし合って旧交を温め、

困ったことがあったらいつでも本学に相談しに来てほしい」と締めました。

熊本県看護協会の本尚美会長の来賓祝辞に続き、平谷隆さん（認定看護師教育課程認知症看護分野）が修了生を代表してあいさつしました。

修了生たちは1年間を振り返り、「大変だったけど仲間たちがいたから乗り越えられた」「自分に必要な学びが見つかった」「ここで学んだことで探していた答えが見つかった」と達成感をにじませながら、笑顔で話していました。

（NL編集部）



修了証を掲げ恩師らと記念撮影する修了生たち



修了生代表あいさつに立つ平谷さん

## 感謝の心込め「退職者送別の会」

「退職者送別の会」が3月24日（月）、1204会議室で開催されました。

冒頭、竹屋元裕学長が出席した7人を紹介し、「本学に尽くしていただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。引き続き、退職者一人一人が本学での思い出を振り返りながら、今後進む道やかなえたい夢などについて語りました。

竹屋学長と木下統晴理事長による花束贈呈の後、全員での会食がスタートし、会場は終始温かい雰囲気包まれていました。（NL編集部）



本学での思い出を語る退職者たち

## 私の秘話★ ヒストリー

看護学科  
澤崎美香講師



## 望む場所で最期迎えられる社会を

現在、地域・在宅看護領域を専門とする教員として勤務しています。その中で、毎年、数名の学生から「先生はなぜ在宅看護を目指したのですか？」との質問を受けます。

私は新人看護師時代に脳神経外科病棟に勤務しました。その時、麻痺を持ちながら退院していく患者さんの家での暮らしがとても気になりました。また、その頃に父が膵臓がんとなり厳しい予後を告げられました。当時は介護保険制度もなく、教育カリキュラムに在宅看護の科目もなく、新人の私は在宅支援に関して無知でした。

父が病院で最期に「家に帰りたい。」と言ったとき、無知だけでなく、思いの実現のために行動をする勇気や自信がなく、何もできず、その願いを叶えることはできませんでした。その後悔と自責の念を胸に、数年後、在宅支援の現場に入りました。今でも、「誰もが望む場所で最期を迎えられる社会を」の思いを胸に、日々、教育や研究に取り組んでいます。

# 初開催

# 健康と医療職フェア

## アミュひろばで学生らPR活動

「健康と医療職フェア」を3月18日（火）、熊本市西区のJR熊本駅に隣接するアミュひろばで開催しました。様々な医療関連の職業を広く知ってもらうことを目的に、初めて開催したものです。加えて熊本大の紹介や同23日（日）に開催されたオープンキャンパスの案内も行いました。

この日は、強風と大雨が入り混じるあいにくの天気でしたが、学生たちの積極的な呼び込みもあり、100人近くの人たちが立ち寄っていました。中には通りがかりの際に、「卒業生です。頑張ってください」と励ましの言葉をかけてくれる人もいました。参加者からは、「医療職に興味を持ちました」、「高校入学前ですが将来のことを考える機会になりました」、などの感想が聞かれました。（入試・広報課）

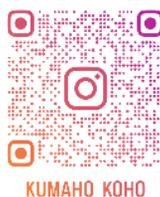
## インフォメーション

### 入試・広報課公式インスタを開始

この度、大学広報の一環として、入試・広報課公式《Instagram》を立ち上げました＝写真。本学のイベントや入試情報に加え、大学の日常などを配信していきます。

ぜひ、本学ホームページ、もしくは右のQRコードよりフォローをお願いいたします。

（入試・広報課）



### 週間行事予定（4月7日～4月14日）

4/7（月）	交通安全講習
～4/8（火）	新入生オリエンテーション
4/10（木）	成績優秀者表彰

構音検査を受ける参加者（右）。フェアでは、訪れた人たちの健康チェックも行いました。

